

令和4年度第6回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和4年8月18日(木) 午後1時26分～午後4時33分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|---------------|-----------|
| 教育長 | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長 | 三 上 正 洋 |
| 職務代理者 | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長 | 須 藤 友 章 |
| 委員 | 加 藤 洋 之 | 合宿の里・スポーツ推進課長 | |
| 委員 | 山 田 敦 久 | | 坂 本 英 樹 |
| 委員 | 多 田 千 鶴 | 社会教育課長 | 武 山 鉄 也 |
| | | 地域教育課長 | 庄 司 伸 一 |
| | | 中央公民館長 | 千 葉 真 奈 美 |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

※開始前に新たに着任したALT、サミュエル・コルバーさんから挨拶あり

1 教育長挨拶

本日は私がオンラインで参加するという変則な形で会議を開催するがご了承ください。

市立学校では始業式が行われたが、残念ながら児童生徒、教職員の全員が揃って2学期をスタートすることができた学校は1校もなかった。さらに、新型コロナウイルス関連で休んでいる児童生徒や教職員がいなかったのは11校中4校だけで、お盆の動きなどによって感染が広がっているようである。また、感染した未就学児のうちの3割、小学生では8割が高熱を出しているとの情報もある。これまで国は、子どもたちのワクチン接種については積極的に奨励していなかったが、現在は一転して推奨している状況にある。60歳以上の人などに対する4回目のワクチン接種が始まっているなか、副反応が少ないといわれているワクチンも選択することができるようになったが、中にはBA.5に対応したワクチンが完成するまで接種を先延ばしする考えの人もいるようだ。現段階では希望者全員が接種できる状況ではないため、引き続きこれまで行ってきた基本的な感染予防対策の徹底がまずは必要。市議会議員からは、「国の対応などが変更され、保護者がどう対応すべきなのか分からなくなっていることから、出席停止日数などの根拠や基準を示すべきでは」との話や、「市立病院で児童生徒のPCR検査を優先的に行うよう申し入れしてはどうか」などの意見もあった。一応、市立病院に問い合わせしてみたが、有症状者の検査で精一杯の状況とのことであり、優先対応は困難な状況である。一方で、発熱した生徒が病院を複数回受診したところ、結果的に扁桃腺炎だったとの例もある。また、コロナに感染するのではないかと不安のため学校を休んでいる子どもが2人ほどいるようである。子どもたちが安心して楽しい学校生活を送ることができるよう心のケアにも努めてまいりたい。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第14号「令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告」について説明を求める。

○三上部長

令和3年度に執行した事務事業について、担当部署の職員自らが執行状況を点検・評価したものを、8月9日に開催した評価委員会議で諮った。評価の概要について、各担当から説明する。

(各課長、館長から説明し、評価委員会での質疑応答内容について須藤課長から説明)

○山田委員

人口減少が避けられないなか、将来的に見直すという内容が多いように感じる。事業を継続していく意義はあるが、一層の工夫が必要ではないか。子ども議会とこども夢トークは類似性のある事業だが、やっている内容は少し違っている。どちらの事業に寄せていくのか。

○千葉館長

子ども議会では、子どもたちからまちづくりのための提言をもらっている。夢トークは、まちづくりに限らず子どもたちに望むことや理想などを語ってもらっている。本年は、多寄小学校と土別中学校で開催するが、人数の限定などのもと、対面で実施することを検討している。

○中峰教育長

社会背景も変化しており、事業内容が現状のニーズに合っているのかの考察も必要。子ども会については、実態としてすでに組織がない地域もある。他の市町村も同様だが、リーダー研修に参加する子どもも減っている。

○加藤委員

コロナ禍の中、農業学習はどういう状況になっているのか。以前は保護者に協力を求めていたが、コミュニティ・スクールのコーディネーターに「みのりの先生」を紹介してもらったと聞いた。前市長のマニフェスト事業だが継続していくのか。

こども夢トークは小学生を対象とした方が良いのではないか。小学生と中学生では感覚的に違うと思う。夢を語った思い出ができることは良いが、タイミングが合わないと感じる場合がある。

○馬場職務代理者

農業学習について、中央地区の学校では、校地外の畑を借りて作物を育てていたのではなかったか。

○須藤課長

土別小学校では、コーディネーターの紹介により、「みのりの先生」を依頼することも前提としてコミュニティ・スクールの委員を選定した。本市の基幹産業は農業であり、引続き農業学習を行うことで子どもたちの愛郷心を醸成したい。以前は校地外の畑をお借りして作物を育てていたが、畑までの移動に時間がかかるため、現在は校地内に畑を作っている。

○千葉館長

指導主事と両アドバイザーからも、「こども夢トークは小学生、子ども議会は中学生が行うと良いのでは」とのアドバイスをいただいた。市長は、子どもたちと率直なやり取りをすることを望んでいる。学校に負担をかけないよう方法を検討したい。

○加藤委員

子どもたちが夢を語る場を提供してもらいたい。

○中峰教育長

子どもの権利条例を整備した際の発想で、子どもたちに発言の機会を提供するものである。どのような目的なのか立ち返って考えることも必要である。

○加藤委員

せっかく子ども議会を開催するのだから、もっと他の子どもたちに見てもらおう方法はないか。子ども議員の家族は議場に来ているが、同級生や友達にも見てもらいたいと思う。まちづくり塾に関しては、多くの人に関わっており、やめてしまうのはもったいないと感じていた。

○千葉館長

子ども議会の様子は、市議会と同様に Web 配信しているほか、市の広報紙での特集や「子ども議会だより」を発行するなどしている。

○加藤委員

せっかく政治に関わる機会なのにと感じる。議員になった子どもだけでなく、他の子どもも活動内容を深く知る機会があれば、もっとこの事業は良いものになると思う

○千葉館長

質問する内容をまとめるためにクラスで話し合ったり、家族に相談したりと、議員によって取り組み方は様々である。

○加藤委員

授業時数のこともあり、あまり時間をかけられないかもしれないが、議会の仕組みなど少しだけでも学んでもらいたい。政治離れが進んでいる中、子どもたちのがんばりを市議会議員の皆さんにもみてもらいたい。

○馬場職務代理者

以前は多くの議員が傍聴していたように思う。

○中峰教育長

もっと多くの人に「見てください」という声かけが必要である。学校行事などを含め、学校の活動に影響しない範囲で、事業を始めたため、学校としての関わり方が薄くなってしまった。他の生徒にも関心を持ってもらえるようにしたい。

○武山課長

「まちづくり塾」の成果として、卒塾生が地域で活躍していることが挙げられる。今年から社会教育課で運営を担当し、複数年に亘って学ぶことを検討している。10月からスタートし、1年目は郷土や実例を学び、2年目は自主性を深めるための研修を行い、人材の育成に努めていく。

○馬場職務代理者

「子どもの体験活動の充実と望ましい生活習慣の定着」では、事務事業の必要性について見直しとしているが何故か。

○武山課長

「子ども会リーダー養成講習」と、宿泊を伴う「チャレンジスクール」について、見直しを視野に入れているが、まだ具体的な内容は決定していない。

○山田委員

「次世代を担う人材の育成とまちづくりへの参画意識の醸成」の評価については「B」のままで良いか。引続き実施していく事業であり、内容的に「A」評価でも良いのではないか。

○加藤委員

同感である。

(他の委員からも同様の意見あり)

○中峰教育長

本項目については、委員の皆さんのご意見を踏まえ、事務局内で検討させていただき、調書の内容の一部修正を検討したい。なお、本年度から、評価調書の様式について一部変更している。

○中峰教育長

議案第 15 号 「土別市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」について説明を求める。

○須藤課長

当該条例は総務課の所管であるが、本日の会議の冒頭に挨拶のあったALTの雇用に関して条例改正が必要となった。今回雇用するALTはJETプログラムによる派遣のため、1年ごとの給与額が全国一律に定められている。本市では平成17年度以降、独自にALTを雇用しており、現行条例ではJETの基準に馴染まないため改正するものである。

○中峰教育長

JETの基準に従って給与を支給しなければならないため、給与額を引下げざるを得ない。札幌市在住ALTのワーキングプアが問題になっていることもあり、道の担当部局にも掛け合ったが認められなかった。JETとしての派遣期間満了後に本市が独自に雇用する場合は、JETの基準によらない給与額を支給することができるようになる。まずは士別の街に慣れ、がんばってもらいたい。

○中峰教育長

議案第16号 「令和4年度士別市文化賞審議会に対する諮問」について説明を求める。

○武山課長

別紙のとおり文化賞候補者の推薦があったため、参考資料のとおり事務を執り進める。まずは、本日の会議で審議会への諮問の可否について審議いただく。文化賞の贈呈は、文化の日である11月3日が基準となっているため、期日に間に合うよう逆算してスケジュールを設定している。

○中峰教育長

説明があったとおり、教育委員会会議で諮問可と決定した場合、文化賞審議会を開催し、文化賞の可否を協議いただくこととなる。この件についてはよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第17号 「令和5年度から使用する高等学校教科用図書の採択」について説明を求める。

○須藤課長

東高校で本年度から使用している教科書は、昨年採択の手続きを行ったところだが、令和5年度から使用する教科書について、別紙のとおり学校が選定したものである。

○中峰教育長

教育委員会としてこれらの教科書を採択してよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第18号 「令和4年度士別市教育委員会補正予算」について説明を求める。

○坂本課長

スポーツ交流館の入口自動ドアが故障し、修理しようとしたところ、すでに部品が入手できない状況にあることから、ドア自体を取り替える。また、士別カーリング協会からの寄附を基に、側面土台の敷設および照明器具を交換する。

○須藤課長

8月2日に糸魚小学校校舎の雨漏りが原因で小火が発生した。その後の雨により別の場所でも雨漏りが確認されたため、屋上防水の一部とトップライトシーリング、天井の破損を合わせて補修する。

○中峰教育長

図工室、理科室上部のトップライトシーリングを追加で補修する。昨年、普通教室側のトップライトを補修している。他に、温小、南中でも体育館で雨漏りが確認されている。

3 その他

◇令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

○須藤課長

本年は4月19日に全国学力・学習状況調査を実施し、国語、算数・数学に加え理科も行った。先日、調査結果の速報が届いたところであり、石橋学校教育アドバイザーが分析を行っているところであり、詳細は後日改めてお知らせする。例年、上川教育局が公表している管内市町村ごとの調査結果報告書について、本年も掲載可能か確認を求められている。なお、学校毎の結果については例年どおり公表しないものとする。

○中峰教育長

この件についてよろしいか。

(全員了承)

◇都市教育委員会連絡協議会定期総会について

○武山課長

8月23日に開催される定期総会で、「これからの生涯学習の充実に向けて」と題した分散会が開催される。本市の状況を別紙のとおりまとめたのでご確認いただきたい。

○馬場職務代理者

スポーツに関する項目は土別ならではのことが多い。もう少し説明文があると良い。

○中峰教育長

事務の点検・評価調書なども参考になる。

○馬場職務代理者

一人あたりの持ち時間はわずかなので大量に用意しておく必要はないが、質問に答えなければならない場合もある。

○中峰教育長

本市の取組を再確認するためにも整理しておくの良いかもしれない。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○坂本課長

30回目となるオリンピックデーランが9月4日に開催される。現在のところ約300人がエントリーしている。今回はコロナ対応のため当日受付は行わず、参加者には2週間の健康観察表を提出してもらうこととしているので、よろしく願います。

午後4時33分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章